

プロジェクト科目

プロジェクト科目 C

前期・選択・2単位

Research Project C

担当教員 谷口文保

授業の目的と到達目標（学修成果）

少子高齢化や過疎化の進む地域社会の活性化は現代社会の重要課題である。アートプロジェクトは、こうした地域の課題を解決する新しいアプローチとして大きく注目されている。本授業では、実際に地域住民の方々と連携し、アートプロジェクトを企画し、それを実践する。その経験を通して、地域社会におけるアートプロジェクトの有効性を体験的に学び、芸術工学の観点から芸術的アプローチによる地域創造の課題と可能性を考える。

地域社会におけるアートプロジェクトの企画や提案ができるようになる。

地域社会におけるアートプロジェクトの有効性を論じることができるようになる。

専門分野が異なるメンバーと協力しあって、グループワークを展開することができるようになる。

授業計画の概要

本授業では、兵庫県たつの市の障害福祉事業所や地域の方々と連携し、実際にアートプロジェクトを企画実践する。まず全国で展開するアートプロジェクトについて講義を受講する。次に、本学で取り組んできた地域におけるアートプロジェクトの展開を学ぶ。その上で、たつの市の障害福祉事業所や各地域を訪問し、現地調査を実施する。調査結果を基に受講生全員が共同でアートプロジェクトを企画する。企画が決まったら、試作品を制作し、それを持って再び現地調査を行う。現地調査を基に作品や活動内容を練り上げる。そして、地域と連携してアートプロジェクトを実行する。最後に、完成した作品を地域行事で展示発表する。

プロジェクト科目 C

前期・選択・2単位

Research Project C

担当教員 曾和具之

履修制限等

履修希望者が10名以上の場合は、抽選を行うことがあります。

授業の目的と到達目標（学修成果）

この授業は、里山における自然環境の活用に関して、実地体験を通じて、自然素材の活用方法について多様な制作および考察を行うことを目的とする。

到達目標

- 1) 里山における実地委活動を通じて、素材の性質や加工方法について学ぶ。
- 2) 自然素材を用いたプロダクトおよびアート作品を制作する。
- 3) ワークショップを通じて、地域社会との連携を図る。

授業計画の概要

日本酒の原料となる酒米「山田錦」を用いた、芸工大オリジナルブランドの日本酒をプロデュースします。具体的な活動内容は、

- 1) 山田錦の育成
- 2) 酒蔵見学および日本酒設計
- 3) ラベル・パッケージデザイン
- 4) とっくり、おちょこなど酒器の制作
- 5) 日本酒を用いたイベント・ワークショップの企画、などを予定しています。

プロジェクト科目D（後期開催）との連携科目になります。

プロジェクト科目 D

後期・選択・2単位

Research Project D

担当教員 曾和具之

履修制限等

原則、研究所プロジェクトCを履修した学生に限りします。

履修希望者が10名以上の場合は、抽選を行うことがあります。

授業の目的と到達目標（学修成果）

この授業は、里山における自然環境の活用に関して、実地体験を通じて、自然素材の活用方法について多様な制作および考察を行うことを目的とする。

到達目標

- 1) 里山における実地委活動を通じて、素材の性質や加工方法について学ぶ。
- 2) 自然素材を用いたプロダクトおよびアート作品を制作する。
- 3) ワークショップを通じて、地域社会との連携を図る。

授業計画の概要

日本酒の原料となる酒米「山田錦」を用いた、芸工大オリジナルブランドの日本酒をプロデュースします。具体的な活動内容は、

- 1) 山田錦の育成
- 2) 酒蔵見学および日本酒設計
- 3) ラベル・パッケージデザイン
- 4) とっくり、おちょこなど酒器の制作
- 5) 日本酒を用いたイベント・ワークショップの企画、などを予定しています。

プロジェクト科目C（前期開催）との連携科目になります。